

2014年4月28日

復興応援 キリン絆プロジェクト

「協和発酵キリン 第4回4県(岩手・宮城・茨城・福島)〈絆〉卓球交流大会」における「ラリーピンポンリレー」でギネス世界記録®を達成！



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

協和発酵キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：花井陳雄、以下「当社」）は、2014年4月26日、27日に福島県の猪苗代町総合体育館にて開催された「協和発酵キリン杯・復興応援 WASURENAI 3.11 第4回4県（岩手・宮城・茨城・福島）〈絆〉卓球交流大会」^{注1}の大会2日目（27日）の特別企画「ラリーピンポンリレー」（正式名：卓球ラリーに参加した最多人数）において、ギネス世界記録®が達成されたことをお知らせします。

これまでの世界記録は106人で、ロンドンの English Ping Pong Association によって2011年11月20日に樹立されましたが、この度はこれよりも33人多い139人でラリーをつなげ、ギネス世界記録®の達成となりました。

このラリーでの卓球のボールはひとつです。卓球台の両サイドに列を作り、ひとりずつ前に進み、1回だけボールを打ったら待機エリアに移動します。3回までの挑戦の中で、106人以上に至る場合はそれ以降の挑戦はできません。今回は3回のうち最初の挑戦で139人に至りました。

前日の練習では10回ほど挑戦したものの、いずれも30～70人ほどしか続かず心配しました。本番では、ギネス世界記録®公式認定員のマクミラン舞さんの“Three, two, one, go!”の合図でスタート。子供たちを中心に、子供たちの指導者・引率者、日本卓球リーグ実業団連盟の選手、大会関係者が心一つにして絆のラリーをつなげ、新記録を達成しました。「記憶だけでなく記録にも残る大会にしよう」との願いが叶いました。

協和発酵キリンは、被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、キリングループの一員として、引き続き被災地の皆様の支援に尽力してまいります。



新記録達成の重圧が掛かる107人目を務めた原田春輝くん（小5）

原田くんのご家族は原発事故の影響で大熊町から喜多方市に避難。昨年の全日本卓球選手権大会の福島県大会で、姉の優芽さん、妹の優衣ちゃんとともに三兄弟でホープス・カブ・バンビの部で優勝。



ギネス世界記録®達成時の記念写真

4 県から参加した子供たちと、子供たちの指導者・引率者、日本卓球リーグ実業団連盟から派遣された選手並びにその他の大会関係者。



本大会参加者へのギネス世界記録®認定証の授与

マクミラン舞さん（ギネス世界記録®公式審判員）から諸富滋（当社 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長）にギネス世界記録®認定証が手渡された。

注 1. 協和発酵キリン杯・復興応援 WASURENAI 3.11 第 4 回 4 県（岩手・宮城・茨城・福島）＜絆＞卓球交流大会の概要

日時：2014 年 4 月 26 日、27 日

場所：猪苗代町総合体育館「カメリーナ」

主催：岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会、茨城県卓球連盟

協賛：協和発酵キリン

※詳細については、当社からの次のニュースリリース（2014 年 4 月 22 日付）をご参照ください。

復興応援 キリン絆プロジェクト

協和発酵キリンは「協和発酵キリン 第 4 回 4 県（岩手・宮城・茨城・福島）＜絆＞卓球交流大会」を今年も応援します。～「ラリーピンポンリレー」でギネス世界記録®に挑戦！～

《本件に関するお問い合わせ》

協和発酵キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-3282-1903